

ジェネリック医薬品地域協議会の実施状況の報告について

【1】平成26年度第1回田川地区ジェネリック医薬品地域協議会

1. 日時：平成27年2月3日（火）午後3時30分～午後4時45分

2. 場所：田川総合庁舎 第5会議室

3. 議論内容

(1) 田川地区ジェネリック医薬品地域協議会設置要綱

- 特に異議はなく、上記要綱は承認された。

(2) 地域協議会事業について

- これまでの地域協議会事業、福岡県の使用促進事業について報告された。

(3) 各機関取組状況

①市町村（国保部局）

- 啓発事業（通知事業、ジェネリック医薬品希望カード・シールの配布等）の取組み状況について報告された。

②地域医師会

- 医療関係者と患者の理解のもとでジェネリック医薬品の普及を進めていくべきとの見解が示され、特に、患者がジェネリック医薬品の品質や効果に対して不信感を抱いていること、基剤の違いによる味の違いで小児が服用できない等、安易にジェネリック医薬品に変更できないという問題もあることが報告された。

③地域薬剤師会

- 変更可の処方や一般名処方であれば、患者の同意を得てジェネリック医薬品に変更するようにしていること、又、薬局内にジェネリック医薬品啓発用のポスターも掲示していることが報告された。

④地域基幹病院

- 社会保険田川病院、田川市立病院から、医薬品採用状況（ジェネリック医薬品の使用割合等）、一般名で登録されている品目数、院外処方箋の中で一般名が記載された処方箋数、ジェネリック医薬品採用基準等について報告された。

(4) その他

- 田川薬剤師会で田川地区基幹病院採用品目リストを作成し、今後の地域協議会でリストの取り扱いについて意見を伺う。

ジェネリック医薬品地域協議会の実施状況の報告について

【2】平成26年度第1回福岡地区ジェネリック医薬品地域協議会

1. 日時：平成27年2月4日（水）午後2時～午後4時
2. 場所：福岡市役所 1504会議室
3. 議論内容

事務局から下記について報告され、意見交換がなされた。

(1) 平成26年度上半期ジェネリック医薬品流通実態調査について

- 新指標の結果も報告するよう要望があり、福岡県医薬品卸業協会、福岡県ジェネリック販社協会等の了承を得られれば、平成27年度から新指標も併せて報告したいと回答した。

(2) 八女筑後地区及び八幡地区における地域協議会の実施状況について

- 各地区の地域基幹病院採用品目リストの進捗状況について質問があり、事務局は以下のとおり回答した。
 - ①八女筑後地区：草案は完成し、2月26日の地域協議会に提示する予定。
 - ②八幡地区：草案は作成中で、3月12日の地域協議会に提示する予定。

(3) 被保険者及び県職員アンケート調査の結果について

- 委員から調査を行った背景について質問があり、事務局から背景を説明するとともに、県職員に対する普及啓発を進めるべきと回答した。

(4) 福岡市国民健康保険におけるジェネリック医薬品利用促進に向けた取り組み

- 国民健康保険課の小川委員から、下記のとおり報告された。
 - ① 差額通知事業の実績（平成26年11月末時点）：送付件数（総数）183,477件、切替者数（累計）22,110名、切替割合25.5%、普及率（数量ベース）54.0%、削減効果額（累計）約3億3,600万円。
 - ② 配布事業：平成26年5月から差額通知に希望シールを同封して送付している。また、平成27年度保険証と併せて希望シールを全世帯に送付する。
 - ③ 広報事業：全世帯配布の「国保ポケットブック」、「福岡市国民健康保険料のお知らせ」等を活用するとともに、ホームページでの広報を行っている。

(5) 福岡地区基幹病院採用ジェネリック医薬品リストの作成について

- 福岡市薬剤師会、基幹病院薬剤部、薬局の薬剤師を委員とする「福岡地区基幹病院採用品目リスト検討委員会」を設置してリストを作成する。また、完成したリストは福岡市薬剤師会ホームページで公表するとともに、病院、診療所及び薬局に印刷物を配布することです承された。